



銀杏 《 愛校 自主自律 》

～生徒一人一人が主役を果たす、「生徒が育つ学校」の創造～

宮内中学校 学校だより

令和5年度 新生徒会役員決まる！！

今年度の生徒会スローガン「覇気 ～理想を形に～」を具現化するために奔走したランカ・アーシャ生徒会長をはじめとした令和4年度の生徒会執行部の活躍は、大変素晴らしいものでした。その姿を追い、今年度の成果を超える宮中生徒会を創り上げようとする令和5年度の新生徒会役員が決定しました。

この宮中がさらに良い学校になり、さらに「生徒が育つ学校」として、ますます発展していくことを期待しています。



【令和5年度 新生徒会役員】

役職	氏名	役職	氏名
生徒会長	佐々木陽人さん (2-2)	学習委員長	殿岡 櫻弓さん (2-1)
生徒会副会長	秋保 心音さん (2-2)	生活委員長	松浦 悠真さん (2-2)
	高橋 春華さん (1-2)	保体委員長	佐原 爽太さん (2-1)
議長	石黒 杏さん (2-3)	給食委員長	小林 珀斗さん (2-2)
	佐藤 桃子さん (1-3)	美化委員長	山口 達也さん (2-1)
事務局長	齋藤由梨亜さん (2-3)	広報委員長	手塚 宙夢さん (2-1)
		応援団長	有野 剣さん (2-2)

後期生徒会総会・・・全校生が一堂に会し、真剣に話し合いました

生徒会活動をさらによりよいものにするため、今年度の活動を振り返り、これからにつないでいくための「後期生徒会総会」が、12月8日（木）に行われました。全校生の手元にはタブレットがおかれ、そこに配信された議案書とともに生徒会執行部の熱い思いに直接触れながら、総会に臨みました。寒い体育館の中での議論となりましたが、学級での討議も踏まえたとても建設的な意見・要望が飛び交い、まさに「覇気 ～理想を形に～」という今年度生徒会スローガンを具現化する総会となりました。総会の最後に、現執行部から新執行部へ生徒会ファイルがそれぞれ手渡され、バトンが引き継がれました。

会が終わり、その場で執行部による総括が行われていましたが、そこに先生方の姿はありません。この総会を自分たちで総括・評価し、今後につないでいこうとする主体性を強く感じました。この様子からも、本校が、一步一步、生徒自らの手で創り上げられていく学校に成長していることを実感しています。



文化面での活躍が続々と…各種表彰式が行われています

今年度、文化面での目覚ましい活躍により宮中生の学びの成果が評価されています。とてもうれしい限りです。毎日の授業や学習はもちろんです。仲間や多くの方々とのふれあいやかかわりから自分の学びの芽は育っていくものです。これからも、大切に育ててほしいと願っています…。この紙面では、全てを紹介しきれず本当に申し訳ありません。

❖ 社会を明るくする運動「南陽市小中学生作文コンテスト」

最優秀賞 2年 星 大地 さん 「苦しみも分かち合う社会を目指して」
優秀賞 2年 鈴木えりもさん 「ジャンの優しさから学んだこと」

❖ 全国中学生人権作文コンテスト山形県大会

モンテディオ山形賞 3年 本田百花さん

❖ 全国中学生人権作文コンテスト置賜地区大会

米沢人権擁護委員協議会長賞 3年 本田百花さん
優秀賞 3年 漆山千愛さん

❖ 山形県少年少女俳句大会

山形県知事賞 3年 梅津知奈さん
 「向日葵の咲くこの道はまだ秘密」
山形県教育委員会教育長賞 3年 山岸詩和さん
 「初詣こごえる母の手を握る」



「どうぞ、よろしくお願ひいたします！」
 これまで、本校でお勤めいただいた技能士の高橋順一さんが、残念ながら、急遽、退職されることになりました。
 これまでのご指導、本当にありがとうございました。後任として、漆山義彦さんが今月一日より勤務をいただいています。小滝にお住まいで、趣味は、鮎の釣り、楽しそう〜です。どうぞ、よろしくお願ひいたします。



◆◆ 図書館サンタからの贈り物を受け取りましたか?? ◆◆



本校図書館（メディアセンター）には、生徒会学習委員会の企画により、その季節に応じた楽しい催しが行われています。クリスマスシーズンを迎え、写真のような企画がなされています。袋の中には、どんな本があるのか、ワクワクしてきます。その本の紹介も掲示され、すぐに袋を開けてみたくになりました。

ぜひ、図書館サンタの贈り物を受け取ってくださいね…。



【校長の独り言…】

まもなく、クリスマスを迎えます。幼いころ、「サンタさんは煙突から家に入って、プレゼントをそっと置いていく」と信じていた自分は、我が家に煙突がないことに気づき、「サンタさんは家に入れず、プレゼントがもらえないのではないか」と真剣に悩んだことがあります…。

中学1年生の担任をしていたころ、そんな笑話をしてしながらみんなで盛り上がり、「何歳ごろまで、サンタさんの存在を信じていたか…。」という話に広がりました。自分でも考えましたが、「小学校の低学年ぐらいかなあ…。」程度の記憶しかありませんでした。ふと、ある男子がうつぶわいていて、何か様子がおかしいことに気が付きました。後で、そっとその理由を尋ねたところ、「サンタさんって、やっぱりいないんですね。」と悲しそうな顔をしながら答えてくれたのです。

大きな衝撃とその子に申し訳ないという気持ちでいっぱいになり、「ごめんな。」と謝りました。みんなで悪気なく盛り上がってしまった反面、その子の純粋な気持ちに傷をつけてしまいました。

「夢」を大事にしようと言いつつ、その夢をいとも簡単にしぼませてしまった経験を、この時期になると、時々思い出します。

老若男女にかかわらず、人は、叶えたい夢だけでなく、果たしたい夢やそっとしまっておきたい夢など、いろいろな夢を持っていると思います。

